

「ゆずり葉」が語る地域の歴史文化(6)

令和3年夏第104号から、島田先生に連載(全6回)して頂いており、今回が最終回となります。

「ゆずり葉の森」

千石ズリと焼石ガ原

元・逆瀬台小学校教諭 島田佳幸

宝塚高校、宝塚西高校、行者山東観峰に囲まれた一帯が「ゆずり葉の森」で、青葉台地域と合わせた総面積は28haに及びます。土砂災害防止を目的に整備された自然公園はコバノミツバツツジが群生し、春は満開の絶景です。白瀬川の川原は木々が茂る中、しばらくは踏み込まれた道が続き、次々と古い石積み、堰堤が現れます。やがて踏み跡も段々と薄くなり、中級〜上級者向けのルートに変貌します。勾配が急な沢歩きとなって水流も細々、続いて伏流となります。そして遂には踏み跡もなくなり、藪の中をかき分けて進むこととなります。逆瀬川水系は武庫川の氾濫を抑えるため、砂防・植林工事が盛んでした。資材運搬に関わり昔は確たる山道があったようですが、完工と共に消滅し自然に還っていきました。途方もない数の石を険しい山奥まで運び、積み上げること、その労苦が堰堤から偲べれます。讓葉山南西の谷筋は大雨が降ると崩落し、千石もの土砂が流出したことから、「千石ズリ」と呼ばれるようになりました。『撰陽群談』(1701)巻第三「山の部」36頁讓葉嶽には「淫雨洪水山を崩し、草木悉く土中に埋み、荒廢の嶽と成て、名のみ残り今村民千石沃(せんごくよく)と称す。」(長雨・洪水が山を崩し、草木がごとごとく土中に埋まり荒れ果てた山となり、村民が千石沃とよんだ)の記録がみられます。またエデンの園付近から逆瀬川を遡行すると「焼石ガ原」と呼ばれる河原があります。『六甲』(竹中靖一著)には、「千石摺の下流。焼石とは火山噴出物のことではなく。焼けたとき河原という形容」と記されています。風化して赤茶けた岩々が、焼けた河原を連想するのでしょうか。巨石のガレ場と幾つもの砂防堰堤が印象的です。「先人たちは長い年

月を掛けて、上流部の崩れ易い山肌一本々々木を植え付けて、その成長を見守り、川筋には何十箇所もの堰堤を設けて流速を緩めた結果、『逆瀬川砂漠』とも称された下流域を素晴らしい住宅地に変えて行き、これによって「逆瀬川は我が国砂防事業発祥の地である」という名誉を得ている。」(「ゆずり葉だより」新春・第42号平成18年1月1日発行より)：先人の尽力に加えて、コミュニティや櫻守の会の方々が登山道やツツジの回廊、里山の整備等に尽力下さっていることに敬意を表し、連載を終了とします。ご通読ありがとうございました。



「ひびき合おう 心あわせて」

逆瀬台小学校音楽会

宝塚市立逆瀬台小学校長 田上 裕一

11月19日に保護者向け音楽会を開催しました。コロナ禍での4年ぶりとなる音楽会は、児童も保護者も全学年の歌唱や合唱の鑑賞ができるように、人数を制限しての2部制としました。子どもたちはこの日に向け練習に励み、友だちとともに音楽を楽しみ、音楽の喜びをわかちあえる、そんな音楽会にしてくれました。ステージの子どもたちとフロアの保護者の皆様の気持ちが響き合いました。心より感謝申し上げます。



『ゆずり葉まつり』を開催

ゆずりは会まつり部一同

11月25日(金)にゆずり葉まつりとしてサイエンスマジックショーを開催しました。コロナ対策として、低学年・高学年で分け2部制で行いました。

子供たちの「わー!」「えー!?!どうなってるの!?!」という感動や驚きの歓声が体育館に響き渡り、ショーを楽しんでくれていました。先生たちがお手伝いに指名され、参加型で行われた為、2部ともに大盛況で幕を閉じました。

今年は新たなゆずり葉まつりとして活動しました。いくつもの案をシュミレーションし、予算や段取りを話し合うのは大変でしたが、子供達の喜ぶ姿を見ることができ、開催できて本当に良かったと思えました。先生、保護者の方々、青少年育成市民会議様、ゆずり葉自治会の皆様、たくさんの方々のご理解、ご協力のおかげで開催することができました。皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



宝塚市親子育てグループ

「かぼちゃ」をご存じですか?

私たち「かぼちゃ」は宝塚市家庭子ども支援センター後援の親子育てグループとして、現在は逆瀬台く野上地区の0〜4才の未就園児と保護者の6組とサポーター1名の計13名で活動しています。創設については市へ届出をしたのは1996年ですが、始まりは40年以上前に遡り、逆瀬台地区の親子が集い創ったものと聞いています。



これまで長らく活動場所として毎週お借りしていた高齢者施設がコロナ禍で利用休止になり、今年度からは月に二回程度、場所や内容を工夫して続けています。一回は西山小学校の施設「ウエル西山」で室内遊びや、季節行事、講師をお呼びして様々なジャンルの親子教室も開催しています。もう一回は遠足に出かけ、春はいちご狩り、夏は水遊び、秋には甲山乗馬クラブで芋掘りとポニーの乗馬体験をしたり、阪急電鉄の車両庫へ見学にも行きました。中でもゆずり葉公園の芝生の上を走り回って、みんなでお弁当を広げたときの子どもの笑顔は格別で忘れられません。

就園前のかげがえのない親子の時間がより深く充実したものになればと願っています。小さな子どもを持つ保護者同士、情報交換をしたり、子育ての悩みを話し合ったり、保護者の方もリフレッシュできるような気さくなメンバーでお待ちしています。お子さまと遊びがてら、ぜひ一度ご見学にいらしてください。

かぼちゃ 代表 足立 葵

お問合せ先：宝塚市子ども家庭支援センター
0797-85-3862
メール：kabochatakarazuka@gmail.com
インスタグラム：@kabochatakarazuka まで